

2022年3月期決算 ご説明資料

 ユシロ化学工業株式会社

TYO 5013

2022年5月30日



INDEX

2022年3月期 決算業績概要 Results

2022年3月期業績に影響を与えた外部要因について	3
2022年3月期 実績（連結）	4
2022年3月期 業績概要（連結）	5
売上高の四半期ごとの推移	6
営業利益の四半期ごとの推移	7
2022年3月期 営業利益（連結）増減要因分析	8
2022年3月期 地域別売上高	9
海外連結子会社売上高（現地通貨） アメリカ・ブラジル・メキシコ・中国	10
海外連結子会社売上高（現地通貨） タイ・インド・マレーシア・インドネシア	11
貸借対照表（連結）	12
キャッシュ・フロー計算書（連結）	13
株主還元	14

2023年3月期 決算業績概要 Forecast

2023年3月期業績予想について	16
新規事業のトピックス	17

《参考資料》 Appendix

会社概要	20
ユシログループ 国内外ネットワーク	21
財務データ推移	22

2022年3月期 決算業績概要



Results



©2022 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2022年3月期業績に影響を与えた外部要因について

原材料、サプライチェーン面の影響

- 新型コロナウイルス感染症の影響からの急激な経済回復における需給バランスの乱れ
- 世界的なインフレによる物価上昇
- 原料費、梱包費、輸送費、エネルギーコストの上昇

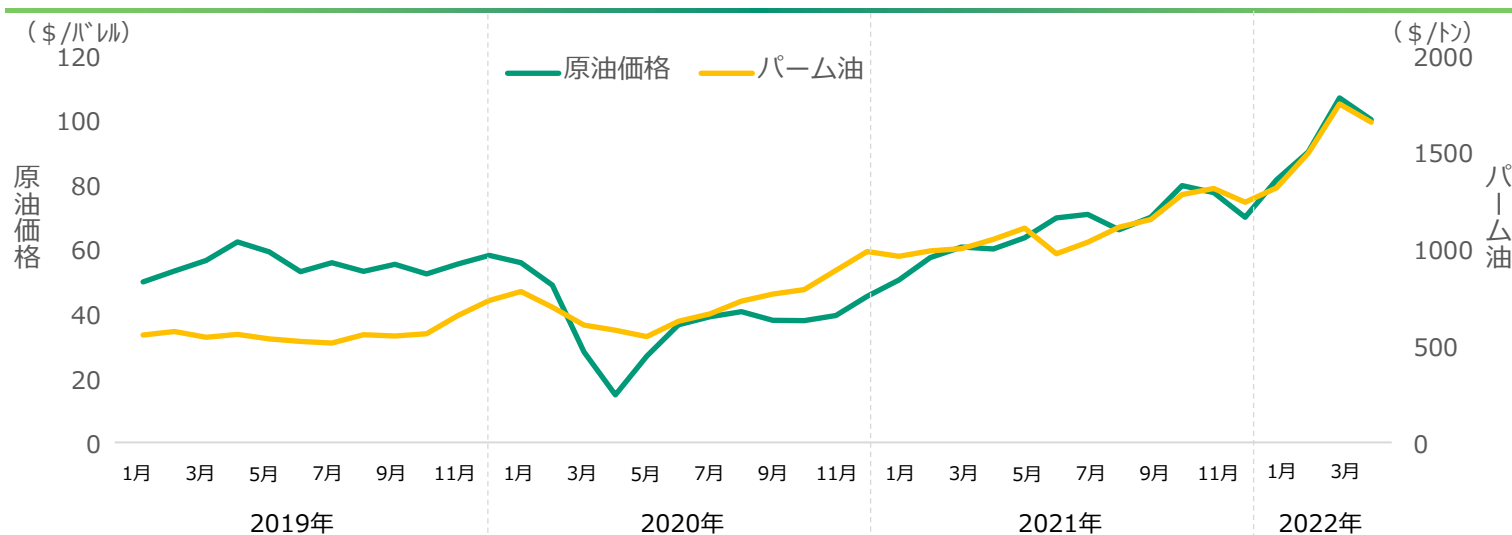
原料費：原油やパーム油市況によって変動する原材料の価格が上昇

梱包費：鋼材価格に連動してドラム缶などの容器の価格が上昇

輸送費：世界的な物流の混乱により海上・航空輸送費が上昇

エネルギーコスト：石油・天然ガス等の価格上昇により、生産コストが上昇

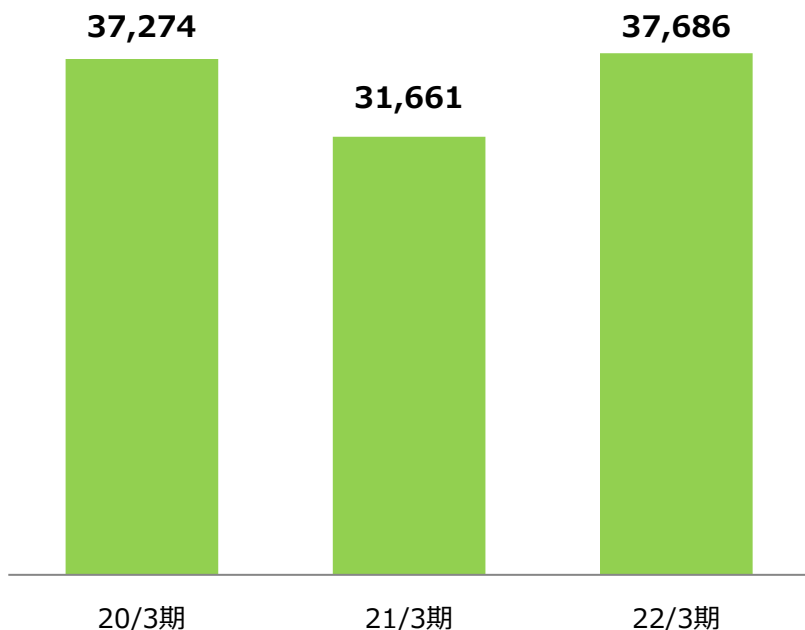
原材料価格の推移



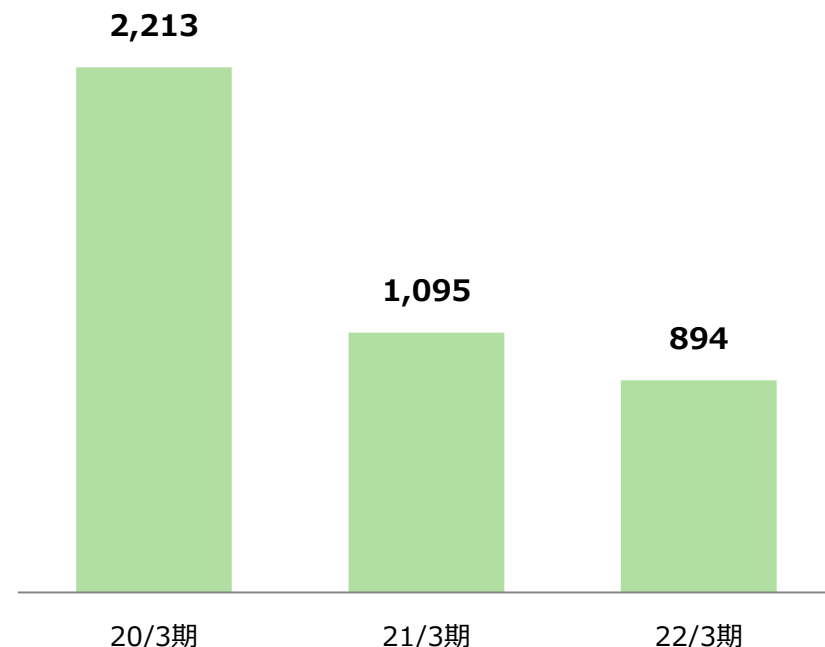
2022年3月期実績（連結）

- 売上高は、顧客の生産回復に合わせ、出荷量が拡大した為増収。
- 営業利益は、価格転嫁を実施したものの、原材料価格高騰、為替変動、物流コスト上昇スピードが想定以上に早かった為減益。

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2022年3月期業績概要（連結）

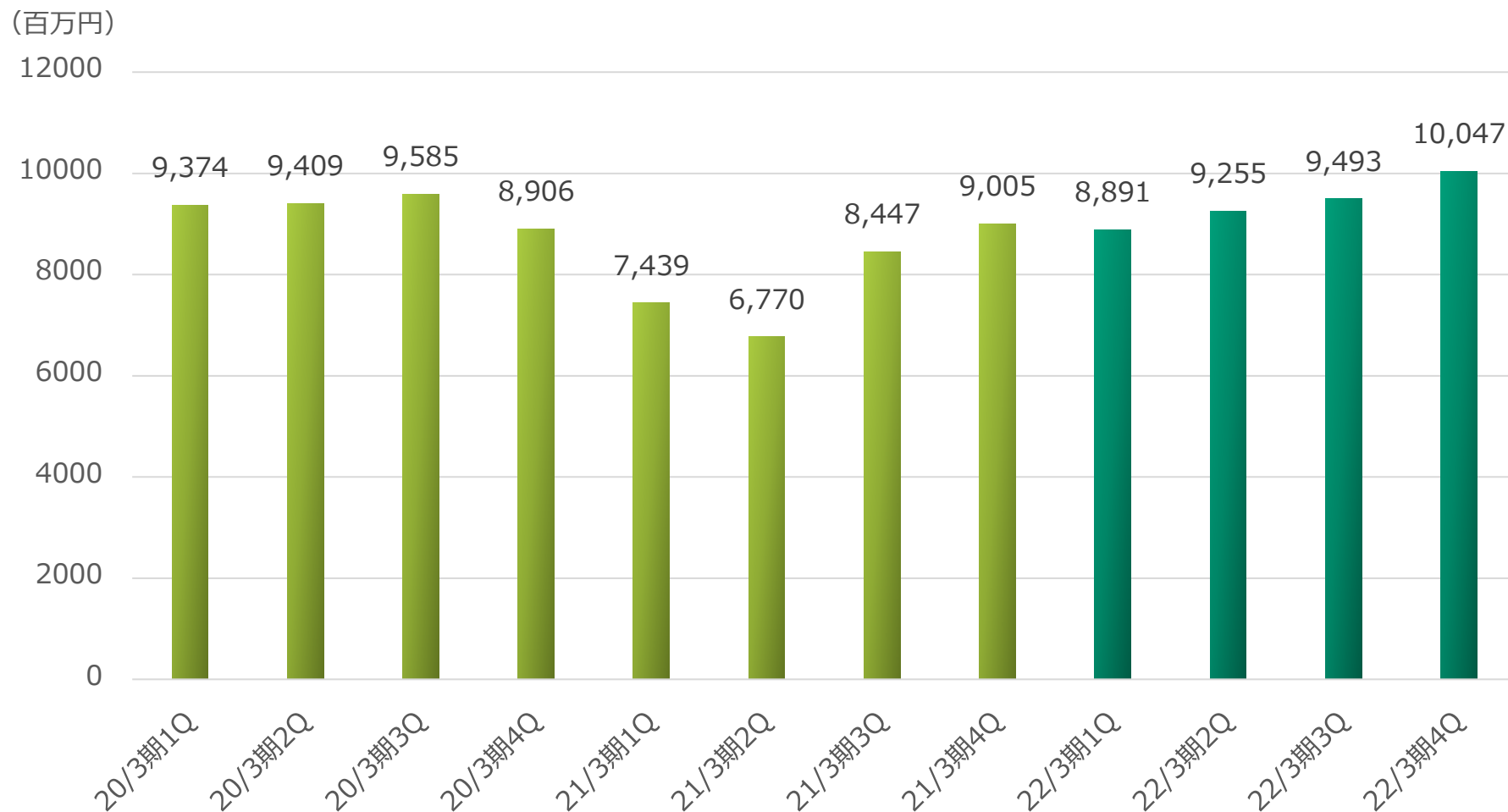
- 売上高は、自動車生産台数の回復により前期比19.0%増、6,024百万円増の37,686百万円。
 - 営業利益は、ユシロ単体の大幅赤字に加え、原材料価格の上昇や経費増により利益を減らしている拠点もあり、前期比201百万円減の894百万円。
 - 経常利益は、持分法投資利益230百万円の計上等により、前期比26百万円増の1,543百万円。
 - 親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の取崩505百万円、クオリケム上海の出資金評価損73百万円等により、前期比705百万円減の273百万円。
- （百万円）

	21/3期	22/3期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	31,661	37,686	6,024	19.0%
営業利益	1,095	894	△201	△18.4%
経常利益	1,517	1,543	26	1.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	978	273	△705	△72.1%

※経常利益：受取利息 前期比96百万円増（内、ブラジル 68百万円：過年度の還付税に対する利息）
 持分法投資利益 前期比55百万円増（内、韓国 49百万円：業績回復）
 その他 前期比45百万円増（内、タイ 26百万円：物品税還付）

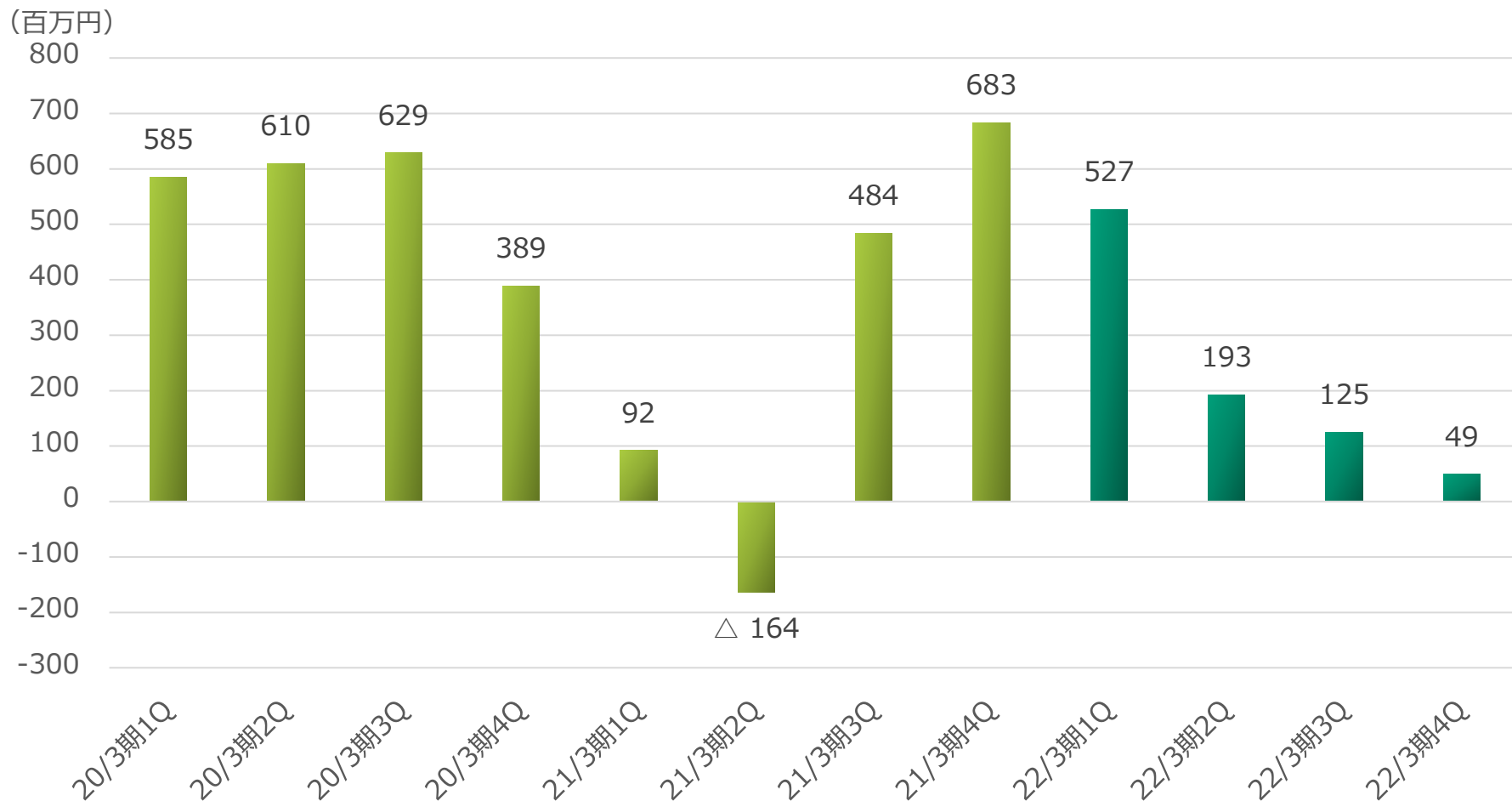
売上高の四半期ごとの推移

- 顧客の生産回復により、販売量拡大が寄与し、売上高は増収基調



営業利益の四半期ごとの推移

- 販売量拡大による売上高増収基調となった反面、原材料価格高騰や物流コスト上昇などのコストが想定以上に進行し、営業利益減少。



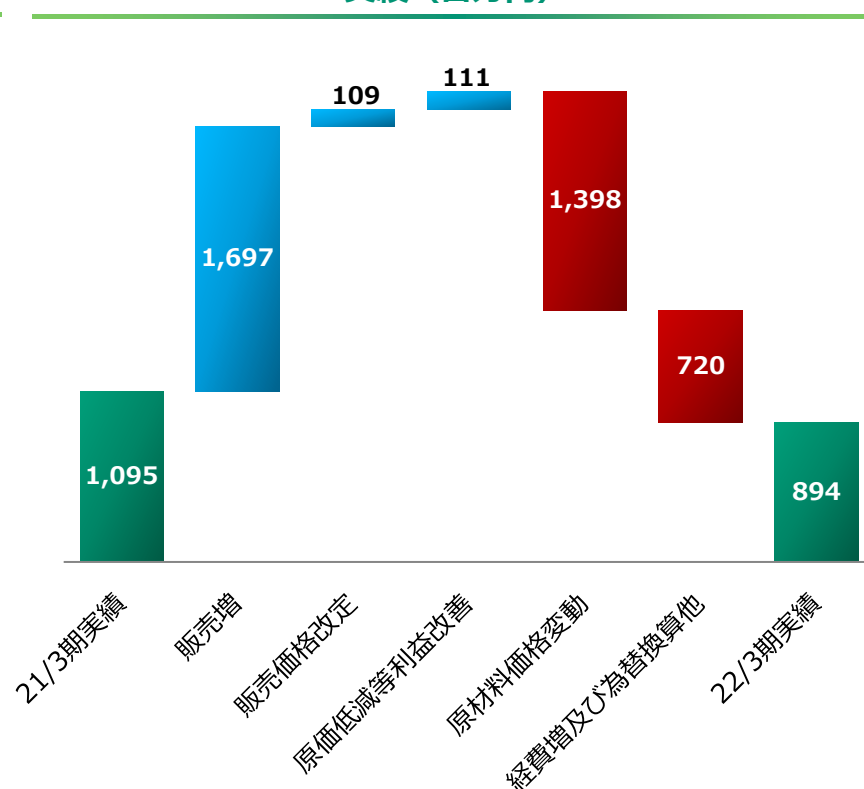
2022年3月期 営業利益（連結）増減要因分析

- 販売回復の影響は大きいですが、原材料価格の大幅な上昇により減益。

期初予想（百万円）



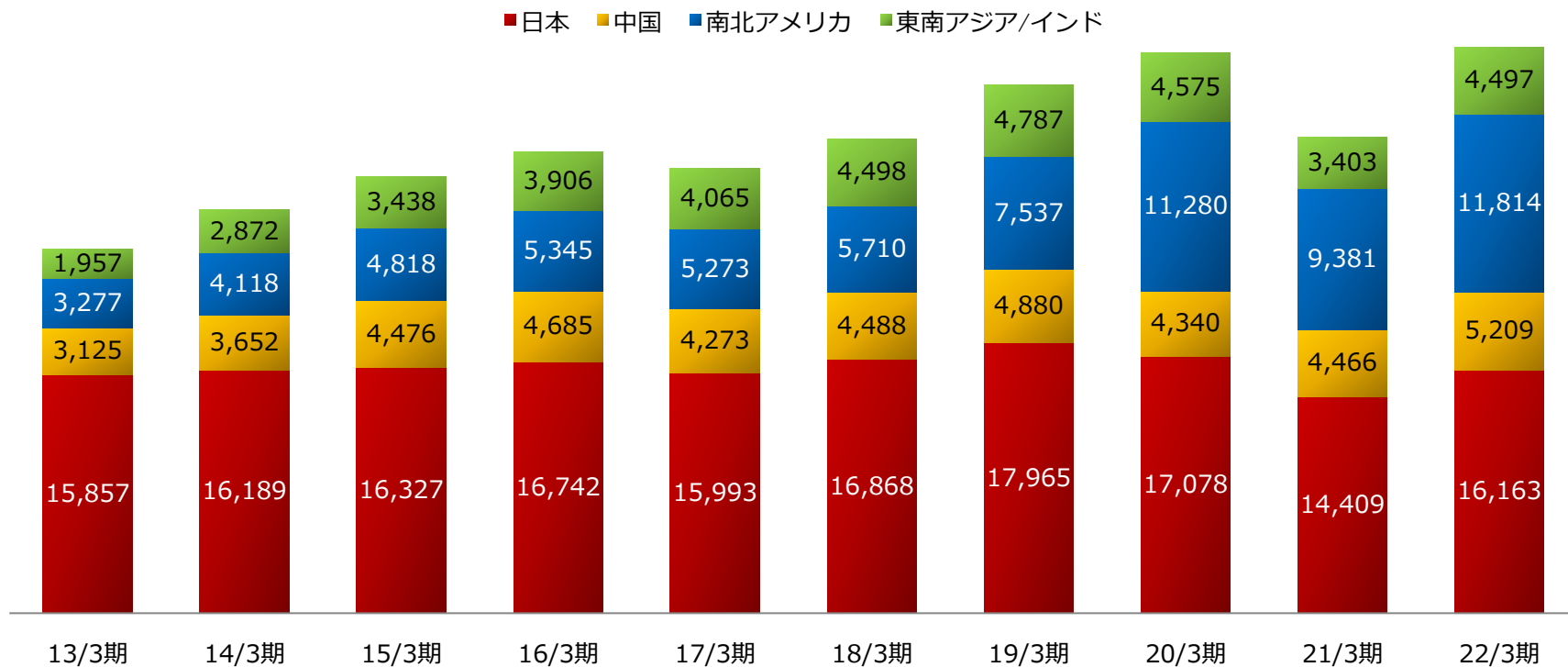
実績（百万円）



2022年3月期 地域別売上高

- 海外売上高はコロナウィルス感染拡大前の水準にまでに回復。

セグメント別売上高（百万円）

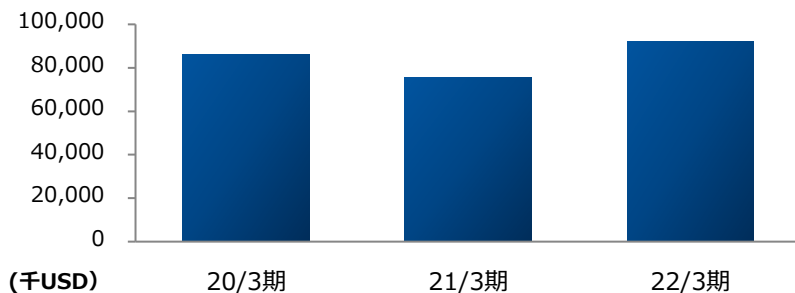


海外連結子会社売上高（現地通貨） アメリカ・ブラジル・メキシコ・中国

アメリカ



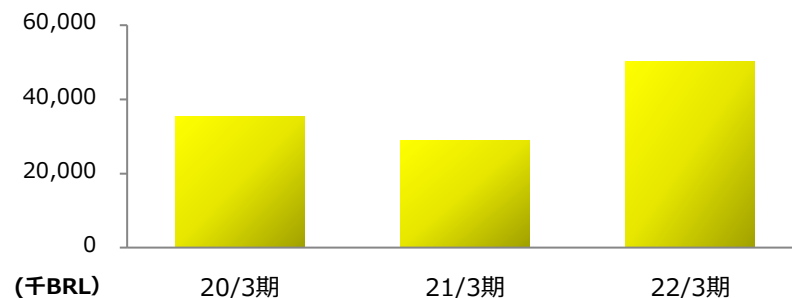
半導体等の部品供給不足による自動車メーカーの減産の影響はあったが、売上は堅調に推移。クオリケム社の増収もあり、前期比22.5%の増収。



ブラジル



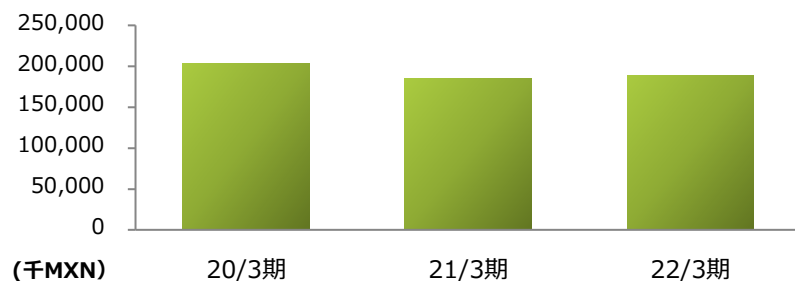
感染症拡大や半導体供給不足の影響は受けたが、顧客の稼働率は回復傾向。拡販も進み、前期比73.6%の増収。



メキシコ



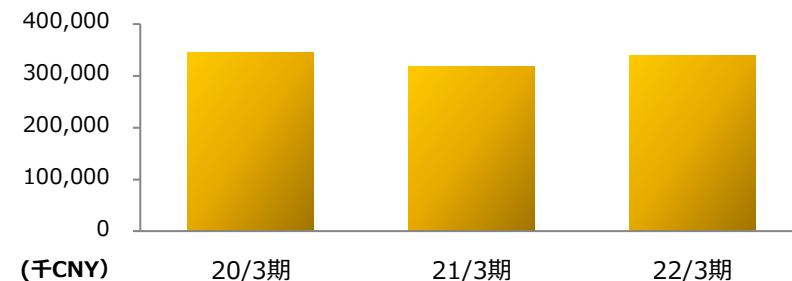
年初の売上は好調に推移したが、半導体供給不足による顧客の稼働減により7月以降は低調。前期比2.0%の増収に留まった。



中国



半導体等の部品供給不足の影響はあったが、1年を通じて自動車生産は堅調に推移。前期比6.9%の増収。

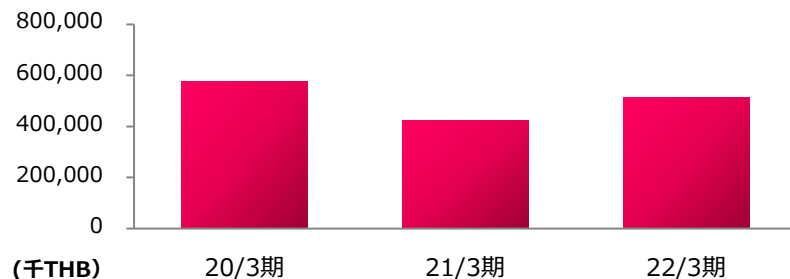


海外連結子会社売上高（現地通貨） タイ・インド・マレーシア・インドネシア

タイ



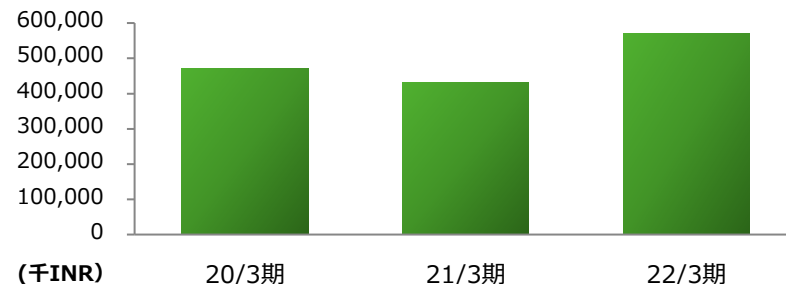
感染症拡大および半導体等の部品供給不足の影響を受け、顧客の稼働率に影響が出た。対前期21.7%の増収だが、感染症拡大前の前々期を下回る結果となった。



インド



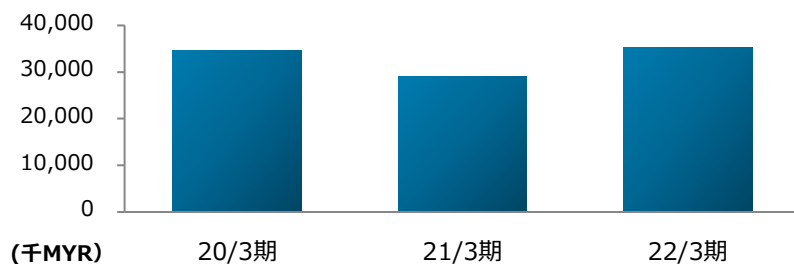
5月に感染症拡大によるロックダウンの影響はあったが、1年を通じて売上は好調に推移。前期比31.7%の増収。



マレーシア



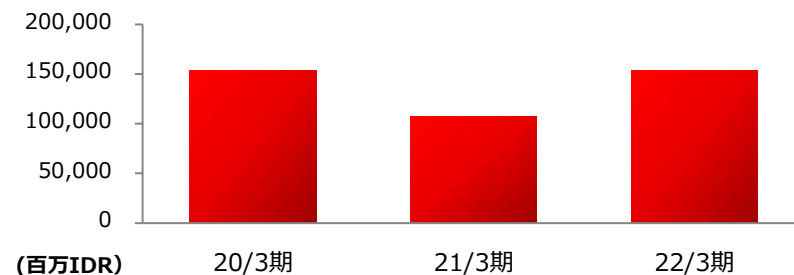
6月に首都圏のロックダウンを実施するなど感染症拡大の影響はあったが、売上は堅調に推移。前期比22.0%の増収。



インドネシア



自動車市場の回復に伴い、顧客の稼働率も回復。7月～8月は感染症拡大により売上が一時落ち込んだが、9月以降は好調に推移。前期比44.0%の増収。



貸借対照表（連結）

- 資産は、売上高増加により受取手形及び売掛金と、棚卸資産（原材料、製品）が増加。
- 負債は、販売量増加及び原材料価格の高騰に連動し、支払手形及び買掛金が増加。

（百万円）

	21/3期末	22/3期末	差額
資産合計	48,369	51,085	2,716
負債合計	16,199	17,216	1,017
純資産合計	32,170	33,868	1,698

キャッシュ・フロー計算書（連結）

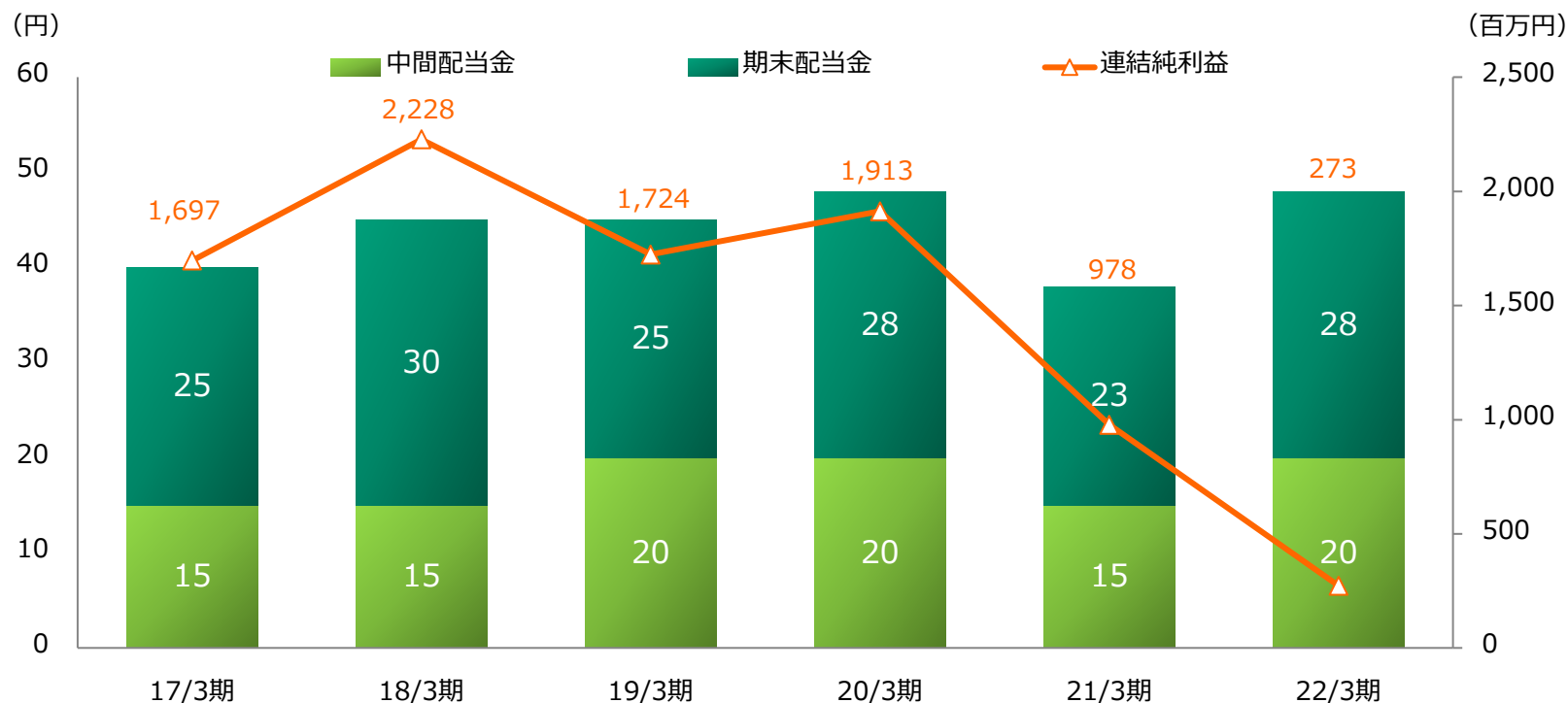
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増減等により変動。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入等により変動。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済により変動。

（百万円）

	21/3期末	22/3期末	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,574	294	△1,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△555	△733	△177
財務活動によるキャッシュ・フロー	208	△1,424	△1,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	△251	487	+738
現金及び現金同等物の増減額	976	△1,376	△2,352
現金及び現金同等物の期首残高	7,150	8,067	+917
現金及び現金同等物の期末残高	8,067	6,691	△1,376

株主還元

- 連結配当性向を30%以上とし、投資とのバランスを考慮しながら安定的な配当を目指します。



配当性向 (連結)	32.2%	27.4%	35.4%	34.1%	52.8%	239.2%
純資産配当率 (連結)	2.0%	2.1%	2.0%	2.2%	1.7%	2.1%
1株当たり 配当金	40円	45円	45円	48円	38円	48円

2023年3月期 業績予想

Forecast



©2022 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

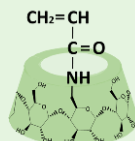
**原材料価格の上昇等により合理的な算定が困難なため、
2023年3月期業績予想の開示を見送ります。
業績を合理的かつ適正に予想できるようになった時点で
速やかに開示します。**

新規事業のトピックス

● 引き続き新領域事業の拡大を目指す

受託合成ビジネス

当社の自己修復材料で活用している技術を活かし、シクロデキストリン誘導体の合成受託事業を展開予定



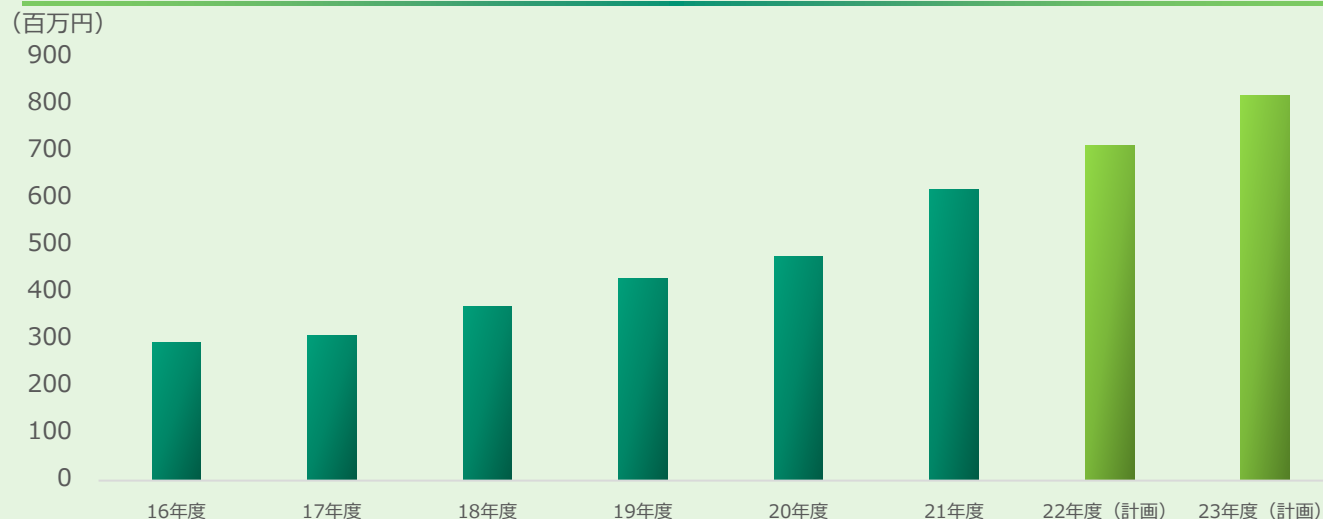
光触媒

一般用途の除菌消臭剤、動物用消臭剤、廃棄物処理場消臭剤を今年度製品化予定
今後も多様な用途への応用を目指して製品を展開

洗濯槽クリーナー

衛生意識の高まりで需要増加。さらなる売上拡大を目指す

洗濯槽クリーナーの売り上げ実績・計画





当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシロの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシロの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみに全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシログループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシロをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

A high-speed photograph of a water splash, showing a crown-like shape with many small droplets rising from a pool of water. The background is a solid light blue.

参考資料

Appendix

会社概要

会社概要（2022年3月現在）

社名	ユシロ化学工業株式会社 (英文名称：Yushiro Chemical Industry Co.,Ltd.)
本社	東京都大田区千鳥2丁目34番16号
代表者	代表取締役社長 有坂 昌規
創立	昭和19年7月24日
事業内容	・金属加工油剤(切削油剤、圧延油剤、引拔油剤、プレス油剤、ダイカスト離型剤、さび止め油剤、洗浄剤等)の製造・販売 ・ビルメンテナンス製品（フロアメンテナンス用ワックスおよび剥離剤、洗浄剤、メンテナンス用機器）の製造・販売
資本金	4,249百万円
連結子会社	(国内) ・日本シー・ピー・ケミカル株式会社（化学品製造・販売） ・ユシロ運送株式会社（製品輸送） ・ユシロ・ゼネラルサービス株式会社（ユシロ運送の倉庫管理業務） (海外) 北米、南米、アジア地域に合計11社のネットワークを有しています。
従業員数	単体：314名 連結：984名

海外ネットワーク詳細

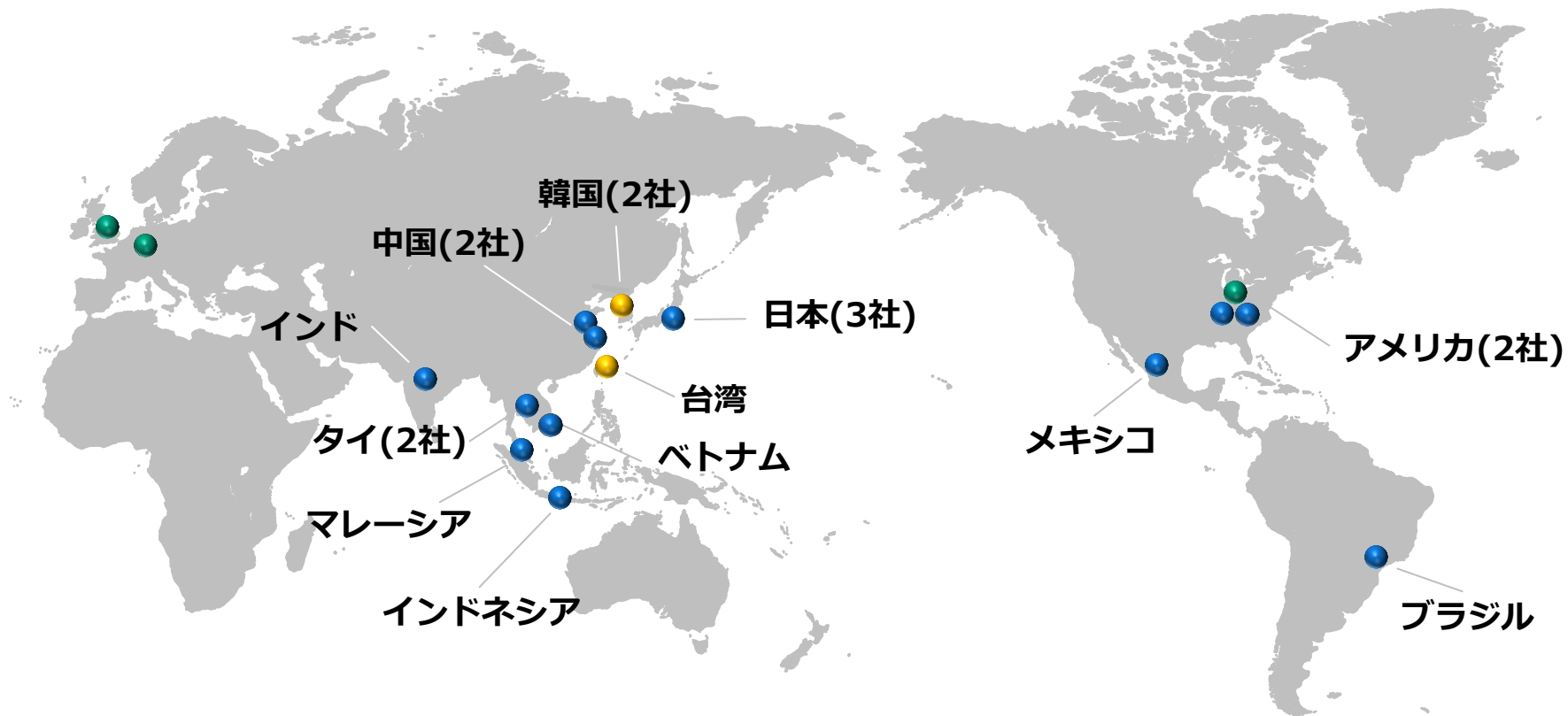
地域	国	社名	住所
北米	アメリカ	YUSHIRO MANUFACTURING AMERICA,INC.	米国インディアナ州シェルビービル市
		QualiChem,Inc.	米国バージニア州セイラム市
	メキシコ	YUSHIRO MEXICO S.A.DE C.V.	メキシコ国グアナファト州
南米	ブラジル	YUSHIRO DO BRASIL INDUSTRIA QUIMICA LTDA.	ブラジル国サンパウロ州カサパバ市
アジア	中国	上海尤希路化学工業有限公司	中国上海市宝山区
		啓東尤希路化学工業有限公司	中国江蘇省啓東市
	タイ	YUSHIRO(THAILAND)CO.,LTD.	タイ国チョンブリ県
	マレーシア	YUSHIRO MALAYSIA SDN.BHD.	マレーシア国セランゴール州ブチョン
	インドネシア	PT.YUSHIRO INDONESIA	インドネシア国西ジャワ州カラワン県
	インド	YUSHIRO INDIA COMPANY PRIVATE LIMITED	インド国ハリヤナ州グルグラム
	ベトナム	YUSHIRO VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム国ホーチミン市 *非連結子会社
	台湾	三宜油化股份有限公司	台湾台北市 *持分法適用会社
	韓国	汎字化学工業株式会社	韓国ソウル特別市 *持分法適用会社

ユシログループ 国内外ネットワーク

● 子（孫）会社（国内3社、海外12社）

● 持分法適用会社（海外3社）

● 技術提携会社（海外3社）



財務データ推移

(百万円)

	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
売上高	23,482	24,217	26,833	29,061	30,680	29,605	31,565	35,170	37,274	31,661	37,686
営業利益	878	881	1,409	1,569	2,169	2,437	2,502	2,076	2,213	1,095	894
経常利益	1,298	1,615	2,285	2,521	2,947	3,017	3,243	2,634	2,718	1,517	1,543
当期 純利益	693	1,052	1,495	1,703	1,993	1,697	2,228	1,724	1,913	978	273